



「浪板海岸」



「源水川とイトヨ生息地」



おおつちジオフードを紹介します！

大槌町における三陸ジオパーク「ジオサイト」を積極的に活用しているメニューや商品等を「ジオフード」として認定しています。

■菓子工房エルマーノ

【商品名】ひょうたん島クッキー

岩手県産のきな粉を使った「しっとり・サクサク」な懐かしい味。

■湘南カレーどんりゅう庵

【商品名】ひょうたん島カレー

ひょうたん島を模ったご飯に、トマトソースで食材を煮込んだポークカレーと、クリームソースで煮込んだチキンカレーを併せたコク深い味わい。



の「暮らしや伝統」も、三陸ジオパークの見どころです。
これらは全て、三陸の大地の歴史の一部であり、私たちは何気ない景色から地域や地球を語ることが出来ます。
楽しみ方は？
普段、見慣れている景色が、なぜできたのか。普段、食べている食材がどうしてこの地域で採れるのか。
「なぜ？」「どうして？」の答えが、三陸の大地や地球の歴史につながっていることに気付くと、今まで見ていた風景や考え方が変わります。

ジオパークへの関わり方
私達の大槌町も三陸ジオパークの一員として、地域の素晴らしい自然や文化の価値を知り、大切に守りながら、教育や持続可能な開発に活かす取組を推進しており、関わり方は様々です。
例えば、教育や生涯学習等を通じて、地域の成り立ちを知る。
大切な地質や貴重な動植物を守るため、清掃活動に参加する。
地域の魅力を来訪者に伝えるガイドなど、私たちが生まれ育った地域の自然や文化に興味・関心を持ち、様々なジオパーク活動に是非参加してください。



「蓬莱島」

「三陸ジオパーク」で「大地や地球の物語」に触れてみよう！

ジオパークとは？

ジオパークは、地球や大地を表す「ジオ」と公園を意味する「パーク」を組み合わせた言葉で、太古から現在までの地形や地質、歴史、動植物、人々の営みを楽しむことができる自然の公園です。

三陸ジオパークはどこにあるの？

私達の大槌町を含む、青森県八戸市から岩手県沿岸、宮城県気仙沼市までのエリアです。

南北約220キロ、東西約80キロ、その海岸線は約300キロに及ぶ日本一広大なジオパークです。

三陸ジオパークの特徴は？

日本でも珍しい5億年前からの連続

した大地の歴史を記録した「地質」に加え、黒崎（普代村）、鵜ノ巣断崖（田野畑村）、龍泉洞（岩泉町）、穴通磯（大船渡市）、などに代表される大地の変動と侵食が作った素晴らしい「景観美」。

そして北山崎のシロバナシヤクナゲ群落、早池峰山（宮古市）固有のハヤチネウスユキソウ、神明崎（気仙沼市）のモクゲンジ、龍泉洞に暮らすコウモリ、鵜の巣断崖周辺に生息する幻の蝶チョウセンアカシジミ、絶滅危惧種でもある淡水型イトヨ（大槌町）のように、特有の地質・地形で育つ「植物」や「動物」たち。

また、「やませ」や「津波」などの自然現象も含め三陸の風土に育まれてきた、机浜番屋群（田野畑村）や南部潜り（洋野町）、北限の海女（久慈市）など、三陸にしかない今に息づく人々

大槌町三陸ジオパーク推進協議会の活動

参加型イベント

- ・「みちのく潮風トレイルウォーキング」（10月26日）
- ・「おおつちいいね！Instagramキャンペーン」

広報

- ・おおつちジオだよりの発行（役場、おしゃっち、等）
- ・Twitterによる情報発信（アカウント @otsuchi_PR）

教育／その他

- ・おおつちジオサイト学びの寺小屋（大槌町こども教育センター OLAI）
- ・おおつちジオフードの認定

（問合せ先：産業振興課商工観光班 42-8725）